

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	磁界バイアス方式による高精度脳機能ダイナミクス計測技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	広島市立大学 大学院情報科学研究科 教授 樋脇 治

1. SCORE での活動目的

高時間分解能と高空間分解能の両方をあわせもつ非侵襲的脳機能計測技術を開発するという課題を解決するために、脳に磁界をバイアスする方式による脳信号計測という技術シーズを用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。商品タイプとして、①研究用高性能タイプ、②臨床用高機能タイプ、③普及用タイプ、④携帯小型タイプの 4 類型を想定しており、この順番で製品開発する予定である。本研究開発課題では、主に、研究用高性能タイプのプロトタイプを開発し、製品検証に取り組む。

2. 総合所見

プロトタイプ開発を計画通りに進め、仮説に基づいて顧客候補に適切なインタビューを行い、高いニーズと応用の可能性を明確にした点を評価する。製品開発や経営人材とのチームアップを進め、事業化を実現することに期待する。

以上